

# 週間漁海況情報—第14号

平成23年4月4日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター  
水産研究所

## 1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図(H23.4.4)を示した。

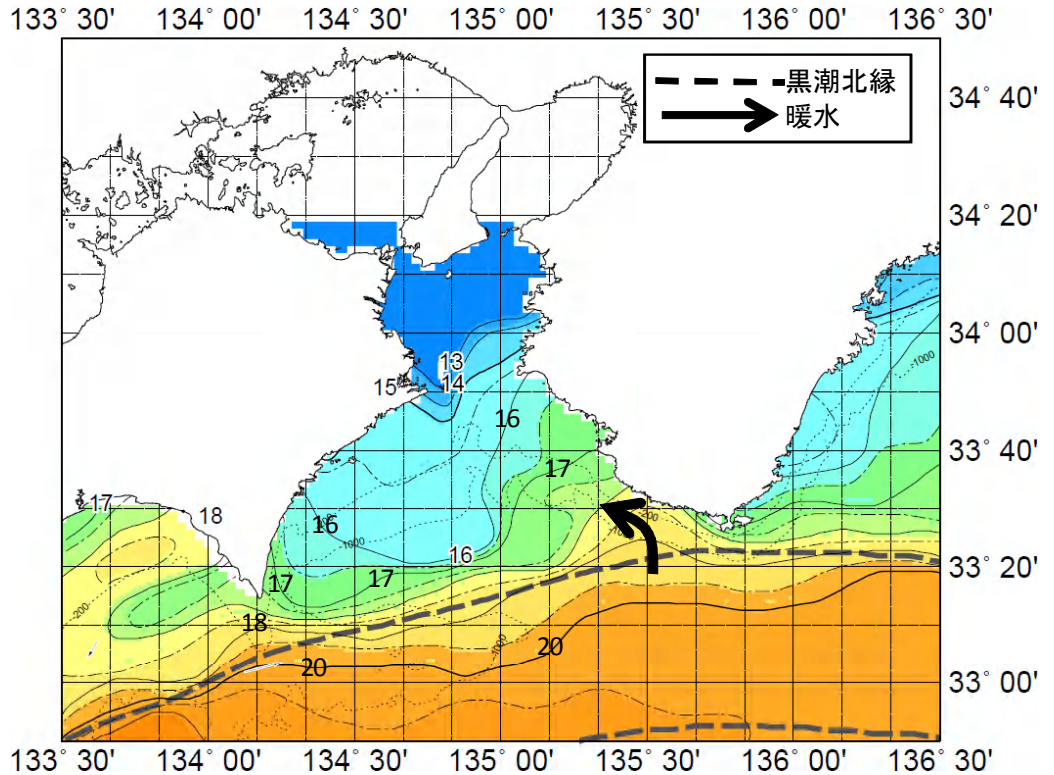
黒潮は、室戸岬でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖で著しく離岸、足摺岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、18～21℃台である。

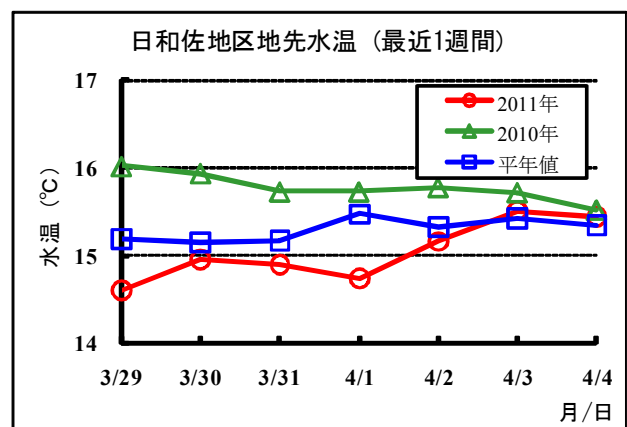
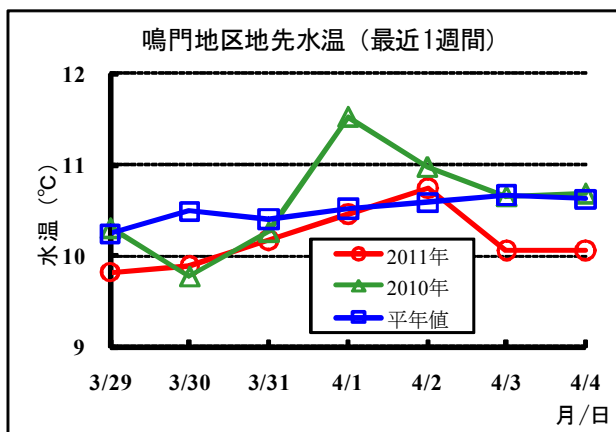
徳島沿岸の表面水温は、播磨灘で10～12℃台、紀伊水道で12～15

℃台、海部沿岸で13～16℃台である。

海部沿岸では、下り潮になっており、16℃以下の内海系水に広く覆われている。



**地先水温** 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「やや低め」～「平年並み」の9.8～10.8℃、日和佐地区で「やや低め」～「平年並み」の14.6～15.5℃、牟岐地区は「低め」～「平年並み」の14.0～16.0℃で推移した。



\* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め(やや低め)：±0.50～1.49、高め(低め)：±1.50～2.49、かなり高め(かなり低め)：±2.50以上

## 2. 海況の経過

延縄：海部沿岸で、大主体にキダイが0.3トン（1日1隻当たり21kg）水揚げされた。

建網：海部沿岸で、ブリが0.9トン（同16kg）水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが0.4トン（同25kg）、大主体にカタクチイワシが1.5トン（同218kg）、小小主体にサバ類が11.7トン（同189kg）、マイワシが0.7トン（同89kg）水揚げされた。

大型定置網：海部沿岸で、大主体にアオリイカが0.3トン（同38kg）、小主体にスルメイカが1.1トン（同154kg）、ブリが20.7トン（同3.0トン）、メジロが1.3トン（同190kg）、中主体にハマチが29.8トン（同4.3トン）、特大主体にマアジが0.3トン（同47kg）、小主体にサバ類が0.9トン（同134kg）水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、大・小主体にタチウオが0.4トン（同52kg）、ブリが0.6トン（同10kg）、メジロが2.1トン（同19kg）、ハマチが0.9トン（同26kg）、紀伊水道で特大主体にタチウオが0.3トン（同27kg）水揚げされた。

漁業種別集計表（抜粋） 03月28日～04月03日

県下6漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	キダイ	14	287	21	大主体
建網		ブリ	58	901	16	
小型定置網		アオリイカ	16	403	25	
		カタクチイワシ	7	1,529	218	大主体
		サバ類	62	11,721	189	小小主体
		マイワシ	8	712	89	
大型定置網		アオリイカ	7	263	38	大主体
		スルメイカ	7	1,079	154	小主体
		ブリ	7	20,718	2,960	
		メジロ	7	1,332	190	
	ハマチ	7	29,822	4,260	中主体	
	マアジ	7	327	47	特大主体	
	サバ類	7	936	134	小主体	
釣り	海部沿岸	タチウオ	7	363	52	大・小主体
		ブリ	55	552	10	
		メジロ	111	2,066	19	
		ハマチ	34	867	26	
	紀伊水道	タチウオ	10	269	27	特大主体

週間予報：黒潮は、室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「平年並み」の10～11℃台、日和佐地先は「平年並み」の15～16℃台前半で推移する見込み。

特異現象：漁業者の情報によると、本県沿岸で傘径5～15cmのアカクラゲが多く出現している。また、同海域で“どま”（もしくは“どべ”）がみられ、漁具等へ付着している。

海部沿岸で、ゴマサバ主体の小サバが多く漁獲されている。